

# 藝文やまなし



「みずがきの森」須玉町 堤 吉彦 撮影

平成16年11月

Vol.11

## CONTENTS

- 本年度の事業の紹介
  - ・会員研修会 .....2
  - ・平成16年度 指導者派遣 .....4
  - ・芸術文化講習会 .....5
  - ・山梨芸術劇場 .....5
- 部門活動紹介 .....6
- いんふおめーしょん .....7
- 賛助会員の紹介 .....8

# 本年度の事業の紹介

## ◎本年度事業について

平成16年度も半ばを過ぎ、4月の総会で承認された本会の事業も順調に進んでおります。

## — 会員研修会 —

総会終了後、講師にみらいな先生を迎え、「はっばフレディーの伝言」を演題に講演して頂きました。先生と山梨にまつわる話が多く聞くことが出来、大変有意義な講演となりました。

その講演の概要を以下に掲載します



### 『はっばフレディーの伝言』

こんにちは、ご紹介頂きましたように子供の本の翻訳、絵本の翻訳をしています。

たまたま出会った「はっばのフレディー」という作品が評判をとり、名が知れ、名誉なことです、その全部が山梨に移り住んだお陰ということと塩山市で自然に色々教えてもらってこの翻訳ができたということで、大変感謝しております。

私はこれまでに、山梨の色々なところでエピソードや、自分自身のこと、仕事についてとかお話ししてきましたが、幼稚園とか小・中・高等学校それから大学、そしてことぶき勸学院とその大学院、生涯学習を実現させようと目指して80代～90代の方々が学んでいるというところにも参りました。山梨県というのは、ずっと生まれたときから、それこそゆりかごから墓場まで、生涯を通して自分自身の人生を華のあるように、人の役にたつようにと努力していらっしゃる方が集まっている県なんだと感心していました。

ですから、芸文協という組織があると聞き、本当にたまげたという感じです。芸術文化協会という名前で、あらゆる分野の芸術文化的な一つの何かをクリエイトされた方達が、それをずっと続けている、その協会があって、その総会があって、そこにと言われたときに、私は感極まりました。人生に意味を見つけることが出来ないという人が山梨県にはいないのではないかと心底思っていました。

私は16年前に大菩薩峠に登ったとき信じられないような竜雲の夕焼けを見て、それがきっかけで、今の土地に出会い、そこを週末の家にするというので、ぶどう畑を買ってそこに建てたんですけども、ある夕方、お掃除に色々な方達がいらした時、また夕焼けが出て、お手伝いに来て下さった方達がみんな景色に眺め入ってしまって、「すごい景色だね」360度山が見えてそしてその町が全景見えて遠くの山々が重なりあって、南アルプスがある。そしてまた一つ二つ三つと宝石のように町の灯りがついて、そして駅が見えるんですが、そこにまるで模型の機関車みたいに列車がすーっと家の目の前を目の下に通って駅に入っていく。それを見て大変びっくりされて、「ここに住まなければもったいない」って言われ、主人もころりと気が変わって週末や休暇中の家ではなく住むことにしたんです。それで、今16年めなんですけど、当初お寺のご住職や文化的な研究をしている方とか名のある方達とお目にかかると、「山梨は85%以上山だったのでここまでしか拓かれなかった」という風に言われる。みんな異口同音にそのことをおっしゃって、それを悔しがっていらっしゃるように。私は「では15%20%その後はまだ隠れているのね」という風に思ったんです。埋蔵文化がザックザックというそういう風な不思議な所なんだなと思いました。

私たちは全く塩山にも山梨県にも縁がなく、たまたま大菩薩に登りその帰りに夕焼けを見て、また次の週にやってきて、今のぶどう畑に出会ったんですけど、そのことをやる思い出しますと、人生というのはこういう出会いの連続ではないかと思います。16年の間に絵本を20冊訳しました。『はっばのフレディー』に出会ったのは、1995年なんですけど、98年の出版直後から羽がはえたように売れて、先月には100万部という大きな数字に届きました。おかげさまでまた増刷が続いています。

私にとってこれまでの人生は何だったのと言うくらい『はっばのフレディー』の“みらいな”で、その前の翻訳をしていた日々は吹っ飛んだように『はっばのフレディー』一色になっています。

それでその前のゾロトーさんはどうだったの？と言われると、『はっばのフレディー』を手に入れるまでは、シャーロットゾロトーさんの作品をずっとやってきたわけですから『はっばのフレディー』の後はページが変わってしまったみたいにゾロトーさんの翻訳者と呼ばれることもなく、「どうしっか」と悩んでいたんですけど、これがびっくりしたことに、ゾロトーさんの『しあわせなモミの木』という作品がこちらに来る直前に出した本なんですけど、今年のクリスマスにミュージカルになって、東京の劇場で上演されることになりました。

『はっばのフレディー』ばかりになっていたのに、またプレーバックしてゾロトーさんに続いたなど、なるほど何かの続きで何かになる。心配いらないと何かそういうことです。

『はっばフレディーの伝言』と言うのは何かの1つのメッセージというのではなく、私が手に入れた情報ということでお話ししますと、本当に本当のことというのは、人が生きている、暮らしている、何か努力している、そういう目に見えないところで全部決まっていく、例えば朝が来て昼が来て、そしてなぜか知らないけれど私はこの皆さんの前に立ってと、その不思議さを思うと、夕焼けがなかったらなかったんじゃないとか大菩薩に連れてってという人がいなければなかったんじゃないとか次々思い返され、生まれたときにまでかえってしまいます。そのこととは別に今世界の反対側では戦争や色々な悲惨なことが起きているけれど、私たちはこういう風に毎日を豊かに暮らしている。そういう色々起きていることということも何か私たちの知らない完全なメカニズムによるものであって、そしてそれが世界の完全さに裨益しているのでは、と私は『はっばのフレディー』に出会ってから思うようになりました。

それと一つ、山梨県の風土が違う、そこで生まれ育った人というのは知らないうちに違っているのではないのでしょうか。というのは、新宿駅のホームに来たとたん、そこだけ元気がよくて、ホームに立っている人達を見ただけで「山梨元気だな、山梨すごいな」と思うんです。

山梨県の人達というのは、そういう気配というか匂いというか生命力を出しているんですね。ホームに行くと、「ここは山梨だな」と思うんですよ。生き生きしているんです。黙っている人達もいるし、もちろん大変なお仕事をお持ちの方達も多いと思うんですけど、そのホームの匂いが違う、音が違う、だからそこも山梨なんだと思うんです。

人が色々なことを決めているんじゃない、政治が決めているんじゃない、何か一生懸命考えて何かやっているんじゃない。風土というものを無視できないということがあると思っています。私はそのことを『はっばのフレディー』の翻訳をする中で全部一言一句というかそれを全部山梨の風に照らし合わせてよくよく吟味して、間違いないなと思うところを出しました。私は『はっばのフレディー』で絵本の翻訳というものはこうするものだということを手に入れた気がするのです。山梨というのは不思議なところだなと思います。

私は去年から赤ちゃんに絵本を読む、歌をうたうクラスを塩山市で受け持っていますが、生まれたばかりの何週間という子どもも来ます。翻訳者というのは、英語を絵本語に直さなければなりません。というのは難しい言葉ではないけれど赤ちゃんにもお年寄りにも、誰にでもわかるとてもシンプルなわかりやすい言葉に全てのものを変えていくということですけど、それが絵本の翻訳者の仕事なんですが、全部の年齢、全部の所に顔を出してみていることは、やはり山梨は不思議なところだなということです。

さて『はっばのフレディー』の中でフレディーは、何万という沢山の葉っぱに囲まれていたけれど、自分はダニエルとクレアとベンとアルフレットの5人の仲間とずっと最後まで励まし合って最後に散りました。いってみればフレディーと周りにいる4枚の葉っぱがはっばのフレディーが暮らした仲間なんですね。

それを世界の中の地域という風に置き換えてみると地域の仲良し、手に届く範囲の仲間という風に、山梨の色々なところで文化を育て一つ一つのグループが仲間として切磋琢磨している、そういう方達はフレディー達ようではありませんか。そしてその活動の価値というのも、この中から読み取ることが出来でしょう。

山梨の芸文協の皆様が今まで私が全然知らなかった部分の情報を伝えてくれました。「こういうグループがある」と教えて頂いてその写真を見せてもらい、活動がどういう風に行われているかが分かってきて、今日このようにして皆様とお目にかかることが出来たとき、これまで85%もの山が妨げとなって山梨の発展が十分ではなかったという、それが間違いで85%見えなかった、そういう人々の融和というか努力というか、お互いを補い合おうとする、その優しさや親切な心とかが残り80%の力だったのかもしれないじゃないかと思います。これから山梨の文化活動が、山梨にどんなに役立っているかを自覚してもらいたいということです。

元気のいい生命力溢れる山梨のみんなが益々元気で上を目指していけば、山梨の目に見えない力になって、それが、山梨県民の気概を養っていくんじゃないかなと思いました。

「はっばのフレディー」が私にくれた伝言はこれなんです。

「木の葉そよぎぬ 風吹かんとす」という葉っぱのそよぎに託して謀反が起きると知らせたという古いうたがありますが『はっばのフレディー』、今吹きっぱなしでいると思うので、やはりこれは、何か世界が変わろうとしているときに、葉っぱが一生懸命色々なことを教えてくれる、そのことを私は思います。今このときに生まれて生きているということ、大変感謝している次第です。今日は芸文山梨の総会ということでお招き頂きまして、私が山梨こそ生きるべきところと見つけたということを少しばかりお話しさせて頂きました。

今日はどうもありがとうございました。



# 平成 16 年度指導者派遣事業

| 部 門     | 申請者（団体名）   | 希 望 指 導 者   | 希 望 指 導 |
|---------|------------|-------------|---------|
| 音 楽     | 長坂中学校      | 西尾富美代       | 声楽・講話   |
|         | 県立わかば養護学校  | マンドリン連盟     | 鑑賞と話    |
|         | 白根御勅使中学校   | 梨響構成員       | 基本指導    |
|         | 甲府市立大里小学校  | 堀川豊彦        | 鑑賞      |
|         | 上野原町立大目小学校 | マンドリン連盟     | 鑑賞      |
|         | 大月市立梁川小学校  | シェーネベルク四重奏団 | 鑑賞      |
|         | 大泉小学校      | シェーネベルク四重奏団 | 鑑賞      |
|         | 南アルプス市教委   | シェーネベルク四重奏団 | 鑑賞      |
|         | 県立甲府養護学校   | 甲府室内合奏団     | 鑑賞      |
|         | 県立甲府養護学校   | マンドリン連盟     | 鑑賞      |
|         | 県立かえで養護学校  | マンドリン連盟     | 鑑賞      |
|         | 県立かえで養護学校  | シェーネベルク四重奏団 | 鑑賞      |
| 書 道     | 早川中学校      | 寺本秋峰        | 書写指導    |
|         | 上野原町立甲東小学校 | 花田龍溪        | 硬筆・毛筆   |
|         | 上野原町立西原小学校 | 花田龍溪        | 練習指導    |
|         | 上野原町立西原小学校 | 花田龍溪        | 練習指導    |
|         | 竜王町立玉幡小学校  | 大久保茜峰       | 半紙指導    |
|         | 竜王町立玉幡小学校  | 鈴木石蹤        | 半紙指導    |
|         | 竜王町立玉幡小学校  | 土橋擁山        | 半紙指導    |
|         | 竜王町立玉幡小学校  | 花田龍溪        | 条幅      |
| 太 鼓     | 県立かえで養護学校  | 岡田稲香        | 書道指導    |
|         | 道志小学校      | 東富士太鼓保存会    | 鑑賞・実技   |
|         | 長坂中学校      | 天野宣         | 太鼓指導    |
|         | 甲府市立北西中学校  | 天野宣         | 演奏と体験   |
|         | 甲府市立城南中学校  | 甲府囃子保存会寿量連  | 鑑賞      |
| 合 唱     | 県立甲府養護学校   | すいれき太鼓      | 演奏      |
|         | 中道町立南小学校   | 近藤幹雄        | 発声法等    |
|         | 身延町立下山中学校  | 高柳勉         | 合唱指導    |
|         | 境川小学校      | 中村淳         | 音楽表現    |
|         | 甲府市立北西中学校  | 足達勝子        | 合唱指導    |
| 邦 楽     | 県立甲府養護学校   | 合唱連盟        | 合唱指導    |
|         | 県民文化祭実行委員会 | 邦楽部門        | 演奏      |
|         | 長坂中学校      | 田中かおる       | 基礎奏法    |
|         | 上野原町立西原小学校 | 富士三曲協会      | 鑑賞      |
|         | 甲府市立北西中学校  | 箏曲若松会       | 選択授業    |
| 演 劇     | 県立甲府養護学校   | 三曲連合会       | 鑑賞      |
|         | 六郷中学校      | 水木亮         | 演劇指導    |
|         | 早川中学校      | 水木亮         | 演劇指導    |
| 文 学     | 長坂中学校      | 水木亮         | 演劇指導    |
|         | 境川小学校      | 井上康明        | 俳句指導    |
|         | 長坂中学校      | 井上康明        | 俳句指導    |
|         | 竜王町立玉幡小学校  | 福田甲子雄       | 俳句指導    |
| 朗 読     | 県立かえで養護学校  | 芦沢典子        | 児童文学    |
|         | 大月市立瀬戸小学校  | 河野司         | 基礎指導    |
|         | 竜王町立玉幡小学校  | 渡辺昌枝        | 読み聞かせ   |
| 美 術     | 長坂中学校      | 向山富士雄       | 凹版基礎    |
| 洋 舞     | 県立わかば養護学校  | 平林美奈子       | 高学部 2 年 |
|         | 県立わかば養護学校  | 平林美奈子       | 高学部 3 年 |
| ハンドクラフト | 南アルプス市教委   | 平賀千恵子       | パンフレーザー |
|         | 県立甲府養護学校   | 保坂藤工芸       | 籠の編み方   |

## 平成 16 年度芸術文化講習会

会員のさらなる研鑽・技術向上のための講習会です。

| 部 会 | 実 施 部 門 | 実 施 内 容     |               |             |  |
|-----|---------|-------------|---------------|-------------|--|
| 発表  | 文 学     | 講師 三枝 浩樹    | 2 月 19 日 (土)  | 県立文学館       |  |
| 舞台  | 日 舞     | 講師 花柳 輔太郎   | 9 月 23 日 (木)  | 県立文化ホール     |  |
|     | 合 唱     | 講師 宇野 徹哉    | 5 月 23 日 (日)  | 甲府市西部市民センター |  |
|     |         | 講師 足達 勝子    | 7 月 18 日 (日)  | 甲府市南部市民センター |  |
| 展示  | ハンドクラフト | 日本ホビーショー講習会 | 5 月 15 日 (土)  | 東京国際展示場     |  |
|     |         | ハンドクラフト講習会  | 9 月 22 日～27 日 | 甲府市総合市民会館   |  |

## 平成 16 年度山梨芸術劇場

舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域に協会傘下の団体を派遣し、生の演奏・演技に触れることで舞台芸術に対する理解を深め、裾野を広げていきます。

| ジャンル   | 公演団体    | 実施月日          | 実施団体・校        | 開催内容  |
|--------|---------|---------------|---------------|-------|
| 邦 楽    | 桐音会     | 11 月 9 日 (火)  | 大和村立大和小学校     | 芸術鑑賞会 |
| オーケストラ | 山梨交響楽団  | 10 月 17 日 (日) | 甲府市立湯田小学校     | 芸術鑑賞会 |
|        |         | 10 月 23 日 (土) | 高根町立高根東小学校    | 芸術鑑賞会 |
| 室 内 楽  | 甲府室内合奏団 | 8 月 28 日 (土)  | 富士河口湖町立西浜小学校  | 芸術鑑賞会 |
| 太 鼓    | 和太鼓天野会  | 8 月 28 日 (土)  | いさわ文化スポーツ振興財団 | 芸術鑑賞会 |
|        |         | 11 月 2 日 (火)  | 市川大門町立市川小学校   | 芸術鑑賞会 |

# 美術部門の紹介

美術部門長 早川 二三郎



審査風景

芸術文化協会美術部門（やまなし県民文化祭美術部門）は、その前身である山梨県芸術祭の第一回が昭和23年開催されたときから、その中核として活動を展開してきた。

当時の県内画壇は山梨美術協会が唯一の公募団体であり、主要な作家は殆ど同会に所属していた関係から、芸術祭美術展の運営、鑑審査のすべてが同会員によってなされていた。昭和32年を中心とした一時期には、芸術祭美術展が単独では開催できず、山梨美術協会と共催という形になってはじめて開催されたということもあった。

現在では、県内においても数多くの公募団体やグループが存在し、また無所属だが優れた作家も増え、その運営については、それらの作家群のすべてを見据えた中から、専門委員を委嘱して業務を遂行していただいている。県民文化祭となった今では、事業の拡大（総合展示、合同展示等）に対応するため、さらに増員して万全を期し、また同時に審査員も増員して、より多様な観点から新しい創造性を発掘していこうと考えている。

美術部門の表現は多岐にわたっている。現在本展が応募している領域は、平面作品として油彩、水彩、日本画、墨彩、パステル、版画、ミクストメディア。立体作品として彫刻、工芸、複合立体等があげられている。なかでも工芸領域では、陶芸、金工、ガラス、竹工、木工、漆工、染色、刺繍等があり、またミクストメディアや複合立体について考えてみれば、現在私共の周辺にあるあらゆる素材の造形作品が含まれていることになる。つまり素材や材質には全く制約されずに、新しい未来志向の創造のすべてが、公募の対象になっているといってもよい。

2004年、県立美術館がリニューアルし、一般展示室が増築され、その名も県民ギャラリーとなった。これまでは壁面の関係で二段掛けも止むを得ない状態であったが、本年度からはそのようなこともなくなり、良い条件で作品の鑑賞ができるようになる筈である。また、県民文化祭になってからは、一般入選作品を優先させるために、招待作家の作品は隔年交代で出品することとしてきたが、本年からは招待全作品を一堂に展示することにし、内容のいっそうの充実をはかることとした。

美術部門は、これまで県立美術館における美術展が唯一の場であったが、展示領域の他部門と共に、新たに総合展示、合同展示にも参加している。総合展示では専門委員の作品を中心に、合同展示では本展において受賞した作家の作品を、他部門の作品と共に展観して、年間の業績を総括



しようとするものである。今年で4回展になるが、次第に定着しつつある。

一般公募では、近年は特に中高年層のパワーが凄く、作品の内容も充実したものが多い。しかし気力溢れる若年層の出品が少なく、今後の大きな課題となっている。

(県民文化祭美術展を中心に美術部門の活動を行っているため、美術展を中心に紹介しました。)

## いんふおめーしょん 芸術文化協会会員活動紹介

### 書 道

|                         |     |                  |
|-------------------------|-----|------------------|
| 第31回 弘風会かな書展            | 期 日 | 11月12日(金)～14日(日) |
|                         | 会 場 | 県民会館地下           |
| 第32回 山梨県書道会展            | 期 日 | 12月1日(水)～5日(日)   |
|                         | 会 場 | 県立美術館            |
| 第12回 山梨書作家連盟チャリティー書道小品展 | 期 日 | 1月5日(水)～10日(月)   |
|                         | 会 場 | 山交百貨店五階          |
| 第48回 徽墨会展               | 期 日 | 1月10日(月)～16日(日)  |
|                         | 会 場 | 県立美術館            |
| 第28回 岱泉会書道展             | 期 日 | 2月25日(金)～27日(日)  |
|                         | 会 場 | 県民会館地下           |
| 第31回 玄遠書道師範会会員展         | 期 日 | 3月3日(木)～6日(日)    |
|                         | 会 場 | 県民情報プラザ          |
| 第23回 蒼の会書展              | 期 日 | 3月8日(火)～13日(日)   |
|                         | 会 場 | 県立美術館            |

### 文 学

#### 隗文学会ジュエリーエッセイ賞 作品募集要項

- 1 主旨  
ジュエリーへ対する思い入れをエッセイとして表現した作品を募集する。
- 2 募集作品  
400字詰原稿用紙5枚の未発表のエッセイ作品。タイトルを付けること。
- 3 応募資格  
年齢、性別、職業、国籍、プロ・アマを問いません。
- 4 応募方法  
日本語で書かれた縦書きのもので、原稿用紙1枚目にタイトル、氏名、年齢、性別、住所、電話番号、職業を明記の上、郵送して下さい。ワープロ原稿でも構いません。
- 5 賞  
最優秀賞(1編)賞金5万円、優秀賞(2編)賞金各3万円。佳作10～20編はオリジナルボールペン。
- 6 応募期限  
平成16年12月31日(消印有効)
- 7 結果発表  
平成17年2月に本人に通知、作品集を4月に発行。
- 8 選考委員  
隗文学会ジュエリーエッセイ賞選考委員会
- 9 応募先  
〒400-0851 甲府市住吉5-6-33  
山梨研摩宝飾新聞社内 隗文学会ジュエリーエッセイ係宛
- 10 その他  
①入賞作品の著作権は主催者に帰属します。②応募作品は返却しません。③電話での対応はしません。

## 音 楽

### 甲府室内合奏団演奏会（バロック音楽の夕べ）

日 時 平成16年11月27日（土）午後6：30開演  
場 所 県民文化ホール 小ホール  
指 揮 堀 了介  
曲 目 J.S.バッハ作曲  
管弦楽組曲第3番 ニ長調  
A.コレルリ作曲  
合奏協奏曲 作品6-1  
A.ヴィヴァルディ作曲  
ヴァイオリン協奏曲「四季」より「冬」

### 県民第九演奏会

日 時 平成16年12月12日（日）午後2：00開演  
場 所 県民文化ホール 大ホール  
演 奏 指 揮 矢野正浩  
独 唱 Sop.齊藤京子、Alt.橋爪万里子、  
Ten.米澤 傑、Bas.河野克典  
管弦楽 県民第九演奏会管弦楽団  
合 唱 県民第九演奏会合唱団  
曲 目 L.v.ベートーヴェン作曲  
「コリオラン」序曲 作品62  
L.v.ベートーヴェン作曲  
交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱付」

## 賛助会員の紹介

平成15年9月30日現在

|               |               |
|---------------|---------------|
| (株) アピオ       | 昭和町西条3600     |
| (株) 印伝屋上原勇七   | 甲府市川田アリア201   |
| 藤原整形外科        | 甲府市武田3-3-9    |
| 神田温泉 (株)      | 石和町松本190      |
| (株) シャトレーゼ    | 中道町下曾根3440-1  |
| (株) 山根園       | 甲府市丸の内2-16-18 |
| (株) 石川工務所     | 塩山市上於曾1990    |
| 山形屋琴三弦店       | 甲府市朝日5-3-10   |
| (有) 田中楽器      | 甲府市丸の内3-4-6   |
| (株) 山梨フジカラー   | 昭和町西条365      |
| (有) 表現社       | 六郷町落居6798-2   |
| 博友社           | 甲府市武田2-1-2    |
| 東京電力 (株) 山梨支店 | 甲府市丸の内1-10-7  |
| みくに画材店        | 甲府市武田3-7-26   |
| (株) ヨネヤ       | 甲府市丸の内1-14-6  |
| 山梨県連合会        | 甲府市相生2-7-17   |
| (社) 山梨県建設業協会  | 甲府市丸の内1-14-19 |
| (株) 山梨放送      | 甲府市北口2-6-10   |

|                |               |
|----------------|---------------|
| (株) 山梨文化会館     | 甲府市北口2-6-10   |
| (株) 山梨日々新聞社    | 甲府市北口2-6-10   |
| 山梨県地場産業振興センター  | 甲府市東光寺3-13-25 |
| (財) やまなし産業支援機構 | 甲府市大津町2192-2  |
| 山梨県中小企業団体中央会   | 甲府市飯田2-2-1    |
| 山梨県農協中央会       | 甲府市飯田1-1-20   |
| 山梨交通 (株)       | 甲府市丸の内1-3-3   |
| 山梨県商工会連合会      | 甲府市飯田2-2-1    |
| (株) 吉字屋本店      | 甲府市中央4-5-29   |
| 明桃園            | 櫛形町桃園968      |
| (有) 丸一高村本店     | 山中湖村山中708     |
| オズプリンティング      | 甲府市中央3-8-10   |
| シェーネベルク合奏団     | 芸術文化協会        |
| 内藤楽器           | 甲府市大里町2195    |
| (株) 岡島         | 甲府市丸の内1-21-15 |
| アサヒ・ヒカル        |               |
| 吟剣詩舞道総連盟       | 甲府市富士見2-2-5   |

■表紙題字 金井昭堂（元芸術文化協会副会長）

■表紙写真 堤 吉彦（山梨県写真団体連絡協議会副会長）

芸文やまなし表紙募集 芸文やまなしVol. 12の表紙を募集しています。ふるってご応募ください。

■事務局 山梨県 企画部県民室 生涯学習文化課 芸術文化担当

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 TEL 055-223-1797 FAX 055-223-1322